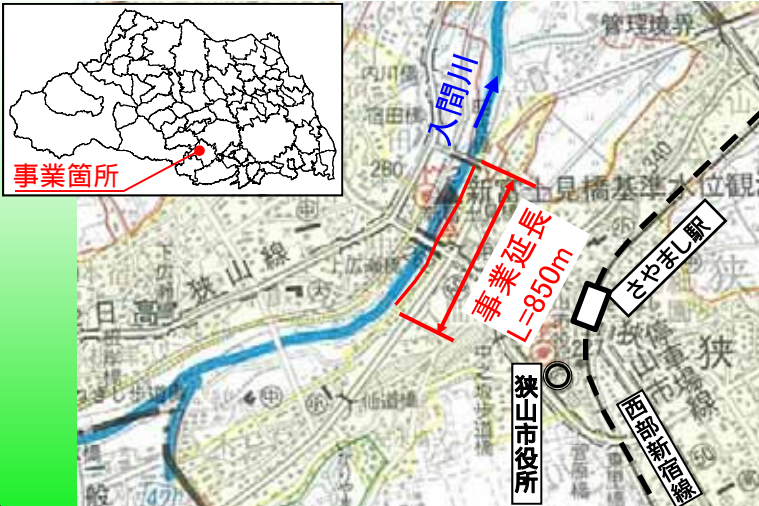




位置図



事業概要

開始年度	平成22年度	
事業延長	L=850m	
事業内容	散策路	L=850m
	渡河施設	一式
	河床整備	L=115m
	河床掘削工	L=140m

地域の声

散策・休息が出来る環境になった。
緑豊かな環境を身近で感じられるようになった。

事業経緯

- 入間川(狭山地区)水辺再生検討会
- ・第1回(H22. 8.11)
 - ・第2回(H22.12.20)
 - ・第3回(H23. 2. 4)
 - ・第4回(H24. 1.20) 現場見学会
 - ・第5回(H24. 5.18) 現場見学会
 - ・第6回(H24. 9.14) 現場披露会

測量・設計(H22.6~H23.11)

工事(H23.12~H24.6)

検討会メンバー

上諏訪自治会、下諏訪自治会、
菅一自治会、子の神自治会、
さやま環境市民ネットワーク、
入間川いい川づくり市民の会、
狭山市、県



地域活動

- ・川の国応援団美化活動団体が年8回清掃活動を実施
- ・川の国応援団が小学生を対象に環境学習を実施
- ・地元団体が毎年10月に森のロウソクを実施
- ・狭山市が毎年入間川七夕まつり納涼花火大会を実施

整備の状況

整備前



市中心部に位置するが人の利用が見られない(H23.11撮影)

整備後



緑豊かな環境の中、安心して水辺に近づける空間が創出された(H24.11撮影)

みんなが川に近づいて遊べる空間づくり

- ポイント①: 安全で快適な歩行者ネットワークの形成
- ポイント②: 安心して水辺に降りて、水辺に触れ合える場を設ける
- ポイント③: 良好な生物環境の創出
- ポイント④: 自然豊かな河畔林の保全

整備テーマ
ポイント

水辺に近づける親水護岸

階段を整備し、安心して川へ近づけるように水辺へのアクセスを確保しました。また、花火大会の際の観覧の場としても利用できます。



堆積土砂の撤去

良好な水辺環境を再生するため、河道内に高く盛り上げて堆積した土砂を撤去し、対岸を望めるようにしました。

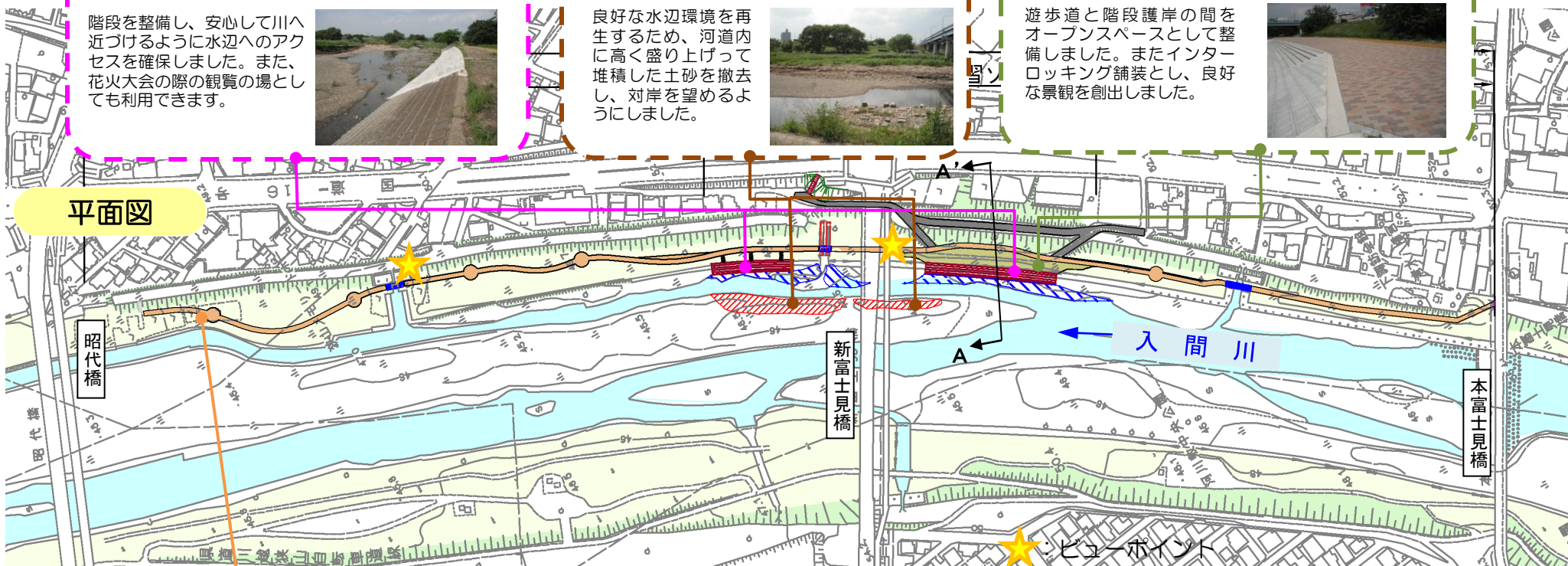


景観に配慮したオープンスペース

遊歩道と階段護岸の間をオープンスペースとして整備しました。またインターロッキング舗装とし、良好な景観を創出しました。



平面図



水辺を散策できる遊歩道

自然豊かな河畔林の中を散策できるよう、高水敷きに遊歩道を整備しました。また、出入口を整備することにより周辺の道路へのアクセス性を向上させました。



横断図

